

ハート・オブ・ゴールド

通信



vol.33

2015年7月15日発行

発行/編集 ハート・オブ・ゴールド事務局
本部 〒701-1213 岡山市北区西幸川 895-7
レジデンスアロー 101
TEL&FAX 086-284-9700
E-mail:hginfo@hofg.org

URL : <http://www.hofg.org/>



調査体育授業の様子(クメール体操)



本邦研修: サッカー授業の見学



本邦研修: 岡出教授の講義



ワークショップ: 参加者によるグループワーク

カンボジア王国 中学校体育科教育支援事業

ハート・オブ・ゴールド(以下、HG)は2006年から教育・青年・スポーツ省(以下、MoEYS)と共にカンボジアの小学校の体育科教育を発展させるために活動を継続しています。小学校の新体育は少しずつ普及している一方、小学校を卒業した子ども達は中学校で以前の体育に戻ってしまい、MoEYS内でも担当部署が異なることから、継続した体育科教育、「態度・知識・技術・協調性」の習得が課題でした。今回、HGは文部科学省による平成26年度戦略的2国間スポーツ国際貢献事業(日本スポーツ振興センター)を再受託し、2015年1月から3月まで、現在の中学校体育科教育の状況を把握し、今後の指導要領及び指導書の作成支援、そしてそれらを用いた中学校新体育の普及を進めるべく、以下の3つの活動を実施しました。

①カンボジア国内中学校体育科教育の調査(コンポンチャム、パイリンをモデル2州とし、各5校の体育施設や体育授業実施状況についての校長・教員・生徒へのインタビューやアンケート、授業視察等を実施)

小学校と異なり中学校は体育専科教員がおり、よりスポーツ的な授業が実施されている一方、統一性のない授業や、以前からのクメール体操(ラジオ体操に似た音のないもの)をするなど、

現時点の体育科教育の置かれている状況を把握することができました。

②本邦研修(2/9-18、MoEYS次官補以下10名の体育担当官)

東京・横浜・岡山にて中学校体育授業や部活動の視察、岡出美則氏(筑波大)、文部科学省教科調査官、原祐一氏(岡山大)から、日本の体育授業の成り立ちや歴史、政策との関連性、授業の実施方法や指導案等について学び、今後の体育科教育の発展のための基礎的知識を習得することができました。

③ワークショップ(3/11-13)

原祐一氏をファシリテーターとし、参加型のワークショップを開催しました。MoEYS内の国立体育・スポーツ研究所及び学校体育スポーツ局担当官、州教育局担当官、5州の各2中学校から校長及び体育教員等44名が参加し、それぞれの立場から体育科教育の指導要領及び指導書作成や体育授業実施に対する見解を共有し、どのような体育科教育を普及していきたいかを話し合いました。最終日には具体的な長期計画を作成し、今後の体育科教育実践に向けた準備ができました。

HGは引き続き、小・中学校において一貫した体育科教育の実現に向けてMoEYSと共に活動を続けていきます。

本邦研修を終えて (一部抜粋、和訳)

サム・ソピア (HG 東南アジア事務所)

体育科教育の発展の歴史の中で、他の教科と同様、主要科目として、促進していくことに成功しました。さらに教員や学校もそれぞれ、スケジュールや指導案をより良い体育授業のために発展させようと取り組んでいます。それ以外にも、放課後の時間には、生徒たちがよりスポーツを楽しみ、伸ばすために部活動が実施されています。近代的であるため、日本には授業を成功させるために施設や教具もいろいろと揃っていました。

しかし、カンボジアの中学校体育科教育を全て日本からコピーすることではなく、日本のシステムを適用しながら、カンボジアの効果的で適した体育を開発していく必要があります。

(中略)

今回の本邦研修で、これからカンボジアのシステム上、いろいろな問題にも直面しますが、自国の体育科教育の発展により長く関わっていきたく感じました。

日本を見ることにより、幸せになりましたが、同時に自分がカンボジアをより良い場所にできないことに悲しくなりました。日本と同じになるのではなく、私の限られた知識と技術でカンボジア独自の発展に貢献できればと思います。

PE Festival - カンボジア・オリジナルの運動会をめざして

井上 恭子

現在、カンボジアでの小学校体育科教育振興事業を進めているなかで、授業の成果を図ることを目的の一つとして、体育科教育の研究指定校を中心に教育・青年・スポーツ省（以下、MoEYS）と学校が主体となった PE Festival（カンボジア運動会）を 2013 年より実施しています。

今回の事業では、初年度に実施した小学校の継続実施と、新規実施ならびに MoEYS の体育専門官 (NT) と実施校教員の指導力向上が目標でした。

継続のワット・チョーク小学校は、NT と HG スタッフによる体育のモニタリング時にあわせて行なった事前指導のみで、規模を縮小しながらも教員によって、練習、準備、開催（当日は専門家 1 名、HG スタッフ 1 名が見学）を自力で行うことができ、重要な成果となりました。

新規校については、前回の課題として挙げた教員対象の事前ワークショップを、NT が作成中のマニュアルを用いて、9 月に実施したところ、参加教員は運動会のイメージを持つことができ、プログラム作成や練習が自主的に行えるようになりました。当初、新規実施は 1 校の予定でしたが、



ワークショップに参加した両校が開催に意欲を示したため、スタッフ (NT、サブ NT、専門家、HG スタッフ、学生ボランティア) を 2 つに分けることで連日開催を決めました。

開催までの 1 週間の 2 校への支援活動では、サブを含めた NT12 人の個々への負荷が増したことで、各自が役割を見つけ、教員や児童への指導においてリーダーシップを発揮し、結果的に NT のスキルアップという目標



も十分に達成されました。

当日は、MoEYS のプー・チュムスレイ次官補 (12/26、ピートゥヌー小学校)、オウク・セティチェットスポーツ総局長 (12/27、プレア・シアヌーク小学校) や市長などが来賓として出席。また、保護者や地域住民も応援したり、競技に参加したり、残り 2 つの運動会の目的である「みんなが楽しめる」「地域とつながる」ものとなりました。

※ニュース映像を You Tube にて公開しています。

<http://youtu.be/vEGbYL6v5-Y>

<http://youtu.be/b5DrvPzbAv0>

カンボジア王国 小学校体育科教育普及事業

西山 直樹

1 月にカンポット州及びコクコン州において 3 回目のモニタリングと公開授業を行いました。この目的は、カンポット州の Anuwat 小学校、Troey Koh 小学校及び教員養成校と、コクコン州の Tiruom Khet 小学校、Chea

Sim 小学校及び Cham Yeam 小学校が新しい体育を 3 か月実践して、どのように変わったかをお互いに紹介することでした。

2 月からは、第 4 地域であるバタンバン地域に入りました。バンテアイミンチェイ州 (Ou Ambel 小学校、Hun Sen Sophy 小学校及び教員養成校) とコンボンチュナン州の拠点校 (Kumruo Krong 小学校、Anuwat 小学校及び教員養成校) 選びと体育ワークショップの開催や 2 回のモニタリング、バタンバン州の拠点校で地域トレーナー (以下、RT) 選出やその育成ワークショップの実施などを終えました。活動を通して、MoEYS のナショナルトレーナーや新たな RT が育成され、2 州 6 校の先生達に新しい体育を伝えることができました。

また、3 月 24-26 日の MoEYS の National Congress では体育についても議論がされ、HG の活動により MoEYS 内で体育の認識が高まっていることを感じる事ができました。

カンボジア・ジュニア・サッカー大会 (HG Cup2015)

2 月 7-8 日の 2 日間、新しい体育を普及している 15 州及びプノンペン の 1 チームを招待し、全 16 チーム計 221 名が参加したサッカー大会を開催しました。第 3 回目となった今大会は昨年と同規模で、体育授業でサッ

カーを学ぶ子ども達が成果を発揮する場とし開催されました。各校はこの日のために練習を重ね、授業にも熱心に取り組んだとのこと。優勝は州の教育局担当官が熱心に指導していたコクコン州が勝ち取りました。



体育授業で学んだボールの蹴り方を試合で発揮



初めてプノンペンに来る子ども達

ニューチャイルドケアセンター (NCCC)

磯邊 千春

NCCC では 17 名の子どもが元気に暮らしています。学校の勉強のほか、英語や日本語の勉強、絵画教室やダンスの練習、そしてお手伝いに毎日大忙しですが、自分達の将来のため、日々、がんばって生活しています。

1 月に岡山学芸館高等学校・清秀中学校様のご支援により浄水器が設置されました。これまでは井戸水を沸かして飲んでいましたが、蛇口をひねれば水が飲めるようになりました。カンボジアではまだまだ安全な水が身近にあるということが少ない状況です。

これまで近隣の主婦を対象としていた「サラージュガニ（おいしい教室）」を地域にも広げようと、2月、



3月にチェイ小学校で開催しました。まず、学校の先生や地域の主婦の方と一緒に約500人分の日本のカレーを作りました。日本のカレーは初めてという子がほとんどで、大量の野菜を切り、煮込み…という作業に興味津々で大勢が集まってきていました。次に、6年生対象の栄養教室では、栄養士の仕組みと朝ごはんの働きについて話がありました。どの食べ物にどんな栄養があるのか、グループ分けをし子どもも参加しながらの授業で「言葉は聞いたことがあったけど、どういう働きがあるのか知らなかった」「朝ごはんをしっかり食べるようにする」といった声が聞こえていました。その後、全校生徒でカレーの試食会を行い、初めは恐る恐る口にして「チュガニ（おいしい）」と言っていました。まだまだカンボジアの学校ではこういったことを学ぶ機会が少ないので、ぜひ続けていきたいと思います。

3月には岡山大学、千葉



大学生との交流



焼却炉の制作

大学の学生9名がNCCCで3日間、活動を行いました。施設内にごみ焼却場を作ってくれたり、日本で流行っているダンスを教えてくれたり、勉強を見てくれたり、そして遊んでもらって、子ども達はとても嬉しそうでした。夕方には「また明日」とお別れしていましたが、最終日は涙のお別れとなりました。子ども達にとってもよい思い出となりました。

これからもスタッフとともに子ども達の成長を見守っていききたいと思います。

美容ワークショップの開催

大澤一夫

将来、シェムリアップに自立支援職業訓練センターの設立をめざしている。

その一つである美容学校を立ち上げるために、カンボジア人美容師及び美容に興味のある若者に日本の美容技術を教え、彼らの美容技術を向上させ、またマーケット調査（日本の美容技術を教わりたいというニーズの有無）も兼ねて

ワークショップを開催した。1～3月に週1回（各3時間）全8回。鈴木彰義氏（シェムリアップ在住の日本人美容師）を講師として美容道具の名前、ハサミの使い方、カットの基本を指導。現地美容学校では、



今回のような丁寧な説明は聞いたことがないようで、参加した人の満足度は高かったと思われる。

今後も定期的に開催予定。

HG むつみ日本語教室

昨年に引き続き1月19日には岡山清秀中学校から34名が日本語教室を訪問し交流しました。日本語教室の卒業生は、日本語ガイド、看護師、企業、ホテル、大学生等それぞれの夢をかなえるために頑張っています。第8期岡山学芸館高校留学生のрутスナラーは一年間の充実した留学を終え、3月9日に帰国し高校2年生に復学しました。

本教室は檜尾睦先生の退任に伴い2015年2月より一時閉校しています。

今後、チェイ小学校内での初級日本語教室を再開すると共に、多くの青少年が



日本語を学べるように日本より日本語教師を派遣し、大学内に日本語講座の新設準備をしています。(今秋、新設予定)留学を希望する青少年に機会を与え、日本企業への就職を視野に入れて活動を広げていきます。

3.11 子ども animo プロジェクト

全国からの支援が減少している中、継続活動として宮城県東松島市立野蒜小学校の要請にこたえて本年も卒業アルバム作成を支援しました。またHGが推奨した体力づくりとして、全校で持久走を始めたとの報告がありました。

一方、石巻市では、渡波小学校に支援した鼓笛隊の制服が大活躍している様子や震災の翌年に蛇田小学校に寄贈した復興庭園には今年も桜が咲き、花壇にも花がいっぱい咲いたことのお知らせに、私たちも元気をもらっています。



国際理解教育 (ESD - 持続可能な開発のための教育)



2014年度は小・中・高校にて18回の出前授業を実施しました。特に岡山市では昨年11月にESDに関するユネスコ世界会議が開催され(海外約100ヶ国と国内学生、研究者ら2千人が参加)ESD教育の重要性が高まってきています。

HGは現場と学校を直接スカイプで結んで、顔の見える、声の聞こえる交流を試みたり、学校が支援したことが現地でどのように活用されているかを報告しました。

子ども達も支援とは何か? 現地声を聞きながら活動

することができました。日本に来ている留学生の生き方や考え方から、大いに刺激を受けて自分自身を振り返ったり、将来進むべき道にも影響を及ぼしたようです。

また、カンボジアでのボランティア活動や研修など、大学生を始め29回の受け入れをしました。

◆情報発信中!

ホームページを改定 <http://www.hofg.org/> フェイスブック <https://www.facebook.com/heartsofgold.japan>

第35回篠山ABCマラソン大会

3月1日、早朝から一日中強い雨が降り続き、気温も6℃と寒く、マラソンには大変厳しいコンディションでした。雨具を身に付けながらも8,200人余のランナーが出走し、自分の力を信じて丹波路を走り抜けました。浄財75万円を寄付していただきました。



第5回淀川国際ハーフマラソン

3月21日、終日晴天の大阪の淀川河川公園にて「3.11 子ども animo プロジェクト」の支援レースとして開催されました。3km ファミリー、10km、ハーフの部に計6,700人のランナーが参加し、早春の風を感じながら爽やかな汗を流しました。98.4万円の支援金をいただきました。



第31回みしま西山連峰登山マラソン

長い歴史のある「みしま西山連峰登山マラソン」は今年から“有森裕子チャリティーラン”として開催されました。HG長岡クラブの方々のご協力のもと5月24日(日)新緑の三島路をハーフ、11km、3km、2kmと住民の手作りの心温まる大会でした。参加ランナーの皆様や応援して頂いた市民の皆様からも、『走ることを通じて有森さんの活動のお手伝いできて嬉しい』『来年も参加します。活動がんばって下さい』、『一緒に走れて感動』など様々なエールや感想をもらいました。寄付12万円をいただきました。



第25回かすみがうらマラソン

4月20日(日)土浦市の霞ヶ浦を舞台に、全国から2万3千人を迎えて開催されたこの大会は、「アンコールワット国際ハーフマラソン」と姉妹マラソンを締結し、ランナーの相互交流を行っています。今年もカンボジアランナー2人(カンボジア障がい者連盟事務局長のオン・ソックエン氏と体育



した。

また、有森代表が伴走した盲人ランナーの方は、今年も優勝し、HG

西日本会員交流会



3月21日、淀川国際ハーフマラソン終了後、大阪駅前の「老房」にて開催しました。

当日は31人の会員が参加。代表からのHG活動報告、高石ともや理事による乾杯の後、美味しい料理を囲みながらの懇親会へ入り、会員同士が交流を深める有意義な時間となりました。

東日本交流会

4月20日かすみがうらマラソン終了後、今年も上野で交流会を開きました。28人の参加者を迎え、カンボジアランナー二人と留学生サオピア、翌21日に東南アジア事務所にインターとして派遣される米山遙香さんも参加して、カンボジアの話に花が咲きました。

HG 会員交流会

6月26日、岡山NPOセンターきらめきプラザで総会に続いて開催しました。当日、留学生のサオピアや一時帰国のNCCCスタッフ磯邊も含め40人が参加。新規参加者の自己紹介や本年度制作のDVD「アンコールワット国際ハーフマラソン18年の軌跡」を上映して、和やかな会になりました。

福島クラブ会員の盲人ランナー星さんも完走されました。

大会からは継続して100万円の寄付をいただき、カンボジアの子ども達や障がい者のために活用させていただきます。

■カンボジアでの活動から

JICA 短期シニア海外ボランティア

配属先：ハート・オブ・ゴールド 東南アジア事務所 千葉 義信

現在、私は、JICA（国際協力機構）シニア海外ボランティアの短期派遣体育ボランティアとして、HG 東南アジア事務所で活動しています。任期は、11 カ月間です。

活動は、HG と JICA での草の根技術協力事業として進めてきた、カンボジアの小学校体育科教育の支援が中心となります。私は、これまで本事業の中で、専門家の 1 人として指導活動に参加してきました。事業は、現在 3 期目に入っています。その初期は、日本の専門家がワークショップの講師を務め、当地の先生方や教育青年スポーツ省学校体育スポーツ局（DPESS）局員へ体育科教育に関わる指導を行ってきました。3



ワークショップの様子（コンボンチュナン州）

期目のワークショップは、選抜された先生方や DPESS 局員が講師を務め、各地で体育科教育の普及に努めています。私は、ワークショップでの補足説明や今後の活動へのアドバイスを行っています。ワークショップでは、講師として直接指導することが少なく寂しく思っています。一方、指導を受けた当地の教育関係者が、講師として教授している姿を見て、たくましく思っています。彼らが、知識や経験を重ね、指導力を



バットンバン州教員、教育青年スポーツ省学校体育スポーツ局員

高めていく姿を見て、当国の体育科教育の未来に大きな可能性を感じています。仕事、生活の拠点は、プノンペンになります。建設工事が多く進められており、町や国全体のパワーを感じています。また、カンボジア国民は、大変友好的であり、生活や仕事を楽しく進めています。JICA のシニア海外ボランティアとしてカンボジアに渡航してから、4 カ月程になります。一国の発展過程の中で、その教育分野に関われることに感謝し、活動を進めていきたいと考えています。

第 17 回総会開催

6 月 26 日（金）午後 6 時より岡山 NPO センターきらめきプラザ 2 階研修室において 2014 年度の総会を開催しました。

総会成立の確認：議決権総数 570
出席者並びに委任状出席者合計 300。議決権総数の 3 分の 1（190）以上出席にて総会成立。

2014 年度事業報告・決算報告、2015 年度事業計画案・予算案、定款の改定、役員の変更等、全ての議案が承認可決されました。

スタッフ一同、本年度も一層充実した活動になるように取り組んでまいります。更なる皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



スプリング・チャリティ・ディナー 2015

2 月 27 日（金）、ホテルインターコンチネンタル東京ベイ「ルグラン」にて、実行委員会の方々の篤い想いが 1 つとなり、第 9 回目のチャリティ・ディナーが華やかに開催されました。

オーシャンビューの会場で美味しいディナーに続き、抽選会とサイレントオークションの発表。そして、いつも盛り上がるライブオークションを、今回はテツ and トモさんが音楽とお笑いで更に楽しく盛り上げてくださいました。インフルエンザのため、急遽参加を取りやめた有森代表からは、skype によるビデオ通話で、会場の皆様にお詫びとお礼のご挨拶。そして、留学生のサオピアも将来の夢につ



いてお話しする場をいただきました。

今年も前年を上回る 754 万円のご寄付をいただきました。ご参加の皆様、ご提供者の皆様、実行委員の皆様にご感謝申し上げます。

次回は記念すべき 10 回目。より多くの皆様と楽しいひと時を過ごせませうことを心待ちにしています。（今回の各商品は、ホームページにてご覧いただけます。）

【吹田中の島チャリティ・ラン】の取り組み

吹田中の島ランナーズ事務局 伊藤 健一

私達「吹田中の島ランナーズ」は1983年に発足。当時の大阪近辺ではランニング大会開催が少なく、地方で開催される大会を楽しんでいました。これら大会で手際や準備不足に不満を持っていましたが、私達ランナーのお世話係が地元のお年寄りを中心に組織されたボランティアであることに気づき、これは感謝するべきだと悟りました。

各地の大会で心のこもった接待をしていただいた皆さんへのお返しとして、1987年から私達も年に一度ボランティアを中心に運営する、マラソン完走への走り込み練習大会として【吹田中の島"耐久"5時間走大会】を開催する事になりました。当初はクラブ員と友人ランナーが中心でしたが、徐々に参加者が増えると共に、「ランナーズエイド」の取り組みを知り、第6回大会から参加者に「一周50円程度の募金」をお願いし、カンボジアへの「国際貢献・社会貢献」として「ランナーズエイド募金」を「日本ユニセフ」を通じて取り組んできました。1996年カンボジアの内戦が終結した直後に開催された1回目の「アンコールワット国際ハーフマラソン」に参加。初めて訪れたカンボジアは、この文化的に発展した時代（日本並びに先進国）にカンボジアでは「傷痍軍人？」や「物乞いの子ども達」「無数の頭蓋骨で作ったカンボジアの地図」等、目を覆い尽くしたい状況に、小さな力でもこの現状を変えなければと思う気持ちを強くしました。1998年有森裕子さんがカンボジア支援の団体として「NGOハート・オブ・ゴールド」を立ち上げられたのを機会に、私達に委託された募金の一部をHGへ寄付し荣誉ある「第1号募金者」となりました。2005年「第10回アンコールワット国際ハーフマラソン」にて「カンボジアオリンピック委員会」より感謝状（写真）をいただきました。



2006年から募金をHG一本にし、2007年より現在の【吹田中の島チャリティ・ラン】として、HGも共催団体として参加いただき「子どもさん」も一緒にランニングが楽しめる「ゲームリレー」と「3時間走」の2種目同時開催の大会として生まれ変わりました。今年9月13日（日）に第9回目の開催を予定しております。この大会は、多くのボランティア仲間の皆さんに支えられ28年間の長きにわたり続けてこられました。事務局として企

主な活動報告（2015年前半）

- 1/8-14 国際交流センターパネル展（岡山）
- 1/13 野谷小学校出前授業（岡山）
- 1/19 岡山学芸館清秀中学校研修旅行受入（シェムリアップ）
- 1/19 NCCC浄水器贈呈式（岡山学芸館清秀中学校参加）
- 2/4 第3藤田小学校出前授業（岡山）
- 2/7-8 第3回カンボジア・ジュニア・サッカー大会
- 2/8-18 中学校体育本邦研修
- 2/9 運動会報告会（岡山大学）
- 2/12 チェイ小浄水器贈呈式（岡山南ロータリークラブ参加）
- 2/15 ストリートチャイルド支援イベント（岡山）
- 2/17 岡山南ロータリークラブ例会
- 2/27 スプリング・チャリティディナー（東京）
- 3/1 第35回篠山ABCマラソン
- 3/2-3/23 青年海外協力隊受入（プノンペン）
- 3/9 第8期留学生ルット・スナラー帰国
- 3/11、3/16-18 岡山大・千葉大研修受入（プノンペン・シェムリアップ）
- 3/21 第5回淀川国際ハーフマラソン（大阪）
- 3/21 西日本会員交流会（大阪）
- 4/19 第25回かすみがうらマラソン（茨城）
- 4/19 東日本会員交流会（東京）
- 4/26 百間川フェスティバル（岡山）
- 5/1 平福小学校出前授業（岡山）
- 5/16 アニモ・チャリティバザー（岡山）
- 5/21 第3藤田小学校出前授業（岡山）
- 5/24 みしま西山連峰登山マラソン（新潟）
- 5/24 HG長岡クラブ会員交流会（新潟）
- 5/31 Arimori Cupマラソン大会（北海道）
- 6/5 岡山県国際貢献活動にて運動会活動報告
- 6/20 第3藤田小学校出前授業（岡山）
- 6/25 アニモの会（岡山）
- 6/26 HG総会・理事会・会員交流会（岡山）
- 6/29 第3藤田小学校出前授業（岡山）

主な活動予定（2015年後半） 変更あり

- 8/7-15 運動会ワークショップ専門家派遣（バットンバン、シェムリアップ）
- 8/31 ダナン国際マラソン大会（ベトナム）
- 9/6 HG福島クラブ総会・交流会（福島）
- 9/13 吹田中の島チャリティラン（大阪）
- 10/4 親子チャリティマラソン in おもちゃ王国（岡山）
- 10/4 第32回おおかち健康マラソン大会（秋田）
- 11/29 第4回富士山マラソン（山梨）
- 12/3-8 カンボジアスタディツアー
- 12/4 アンコールウオーキング
- 12/6 第20回アンコールワット国際ハーフマラソン
- 12/23 山陽女子ロードレース（岡山）
- 12月後半 運動会実施支援（バットンバン）

画準備を担当した私は寄る年波で準備途中に立ち上がれず大会開催が止まることであっては申し訳ないので、その様な状態が来る前に・・・そして、切りの良い「第10回」と「30回」の節目となる2016年を持って大会終了を宣言しており、有森裕子代表やボランティアでご協力いただいていた皆さんにもご了承頂いております。

残す2回の大会、皆さんのご参加をお待ちしています。